

鉄筋継手

2022.7・10

Vol.57 No.1

公益社団法人 日本鉄筋継手協会会誌 — 通巻(左掲)第219号



CONTENTS

1	巻頭言 プラモデルとお医者さん	柿沢 忠弘
2	第60回定時総会報告 2021年度事業報告及び2022年度事業計画・収支予算報告、2021年度収支決算報告及び監査報告、役員報酬、役員選任を承認	
4	トピックス1 2022年調査研究発表会報告	衣笠 秀行
5	トピックス2 2021年度優良圧接会社及びA級継手圧接施工会社認定結果について	勝木 太
7	トピックス3 2021年度優良A級継手溶接施工会社認定について	勝木 太
8	トピックス4 2021年度優良機械式継手施工会社認定について	勝木 太
9	トピックス5 2021年度優良鉄筋継手部検査会社認定について	勝木 太
10	トピックス6 2021年度優良溶接せん断補強筋製造会社認定について	衣笠 秀行
12	工事報告 (仮称)ヴェルディ宇品東6丁目新築工事	東亜建設工業(株)広島営業所
17	随筆	岡野 素之
18	協会の動き 第547回定時理事会報告 第548回定時理事会報告 2021年度第2回臨時理事会報告 2021年度第3回臨時理事会報告 第549回定時理事会報告	
24	会員・専門委員の動き 会員資格の取得及び変更 専門委員の委嘱	
27	協会刊行物案内	

プラモデルとお医者さん

公益社団法人
日本鉄筋継手協会
監事 柿沢 忠弘



私は1985年に入社して今年(2021年3月)定年退職し、現在は嘱託の身である。正直言って会社人生が長かったのか短かったのかよくわからないが、まだまだやりたいと思うことと気力は十分に残っており、会社人生を立派に使い切ったという実感は残念ながら湧いてこない。私の好きなレオナルド・ダ・ビンチも「立派に費やされた一生は長い」と言っているので、単純に考えると「我が会社人生に悔いなし」という境地に達するには、情けないかな、あと5~10年は必要なかと思っている。もうすぐ65歳定年になるだろうし、ひょっとしたらそれが70歳になるかもしれないから、ずっと仕事を続けていれば、さすがにその頃には、まあ何とか自分の気持ちにも決着がついているだろう。

私の会社人生は前半と後半に大きく分けることができる。前半の23年間は技術研究所で主にコンクリート材料の研究開発に従事した。

ある時、一人の先輩研究員がこう言った。「これからの建物は、プレキャスト部材を繋ぎ合わせて造る手法が主流になる。ちょうど小さなパーツを接着して作るプラモデルと一緒に。その接着部分が例えば鉄筋継手であり、そこが建物の要になるから、その品質が重要だ」と。それは、私が超軽量コンクリートや繊維補強軽量コンクリートなど軽くて強い材料と、それを適用したプレキャスト部材(パーツ)の研究開発に取り組んでいた頃だった。私はこの言葉にハッとした。いくらいいパーツを造っても、接着部分がしっかりしていなければ建物は成立しない。このプラモデル理論(?)は私の心を強く捉えた。けれど、当時は研究開発の目標をコンクリートの高付加価値化に据えていたので、結局鉄筋継手の技術に関与することはなかった。実は子供の頃、私はプラモデルを作ることが嫌いで、専ら近所のお兄さんに作ってもらってそれで遊ぶ方が好きだった。そんな性格も手伝ったのだろう、接着部分に深く足を踏み入れることにはならなかった。

しかし、考えてみると、30年近く前に言われた言葉を鮮明に思い出すことができるのだから、この先輩研究員の言葉は若輩の私にとっては、本質を突いた素晴らしい考えに思っていたのだと思う。

次に会社人生の後半に話を移すと、13年前、技術研究

所を飛び出して本社に異動し、全社的な品質管理を統括する仕事に従事することになった。前半の時代が、ちょうど赤ちゃん(新しい技術)の出産を手伝う助産師のような仕事だとすると、後半は「傷(ひび割れ)が開いているので塞ぎましょう」とか「傷からばい菌(漏水、雨漏り)が入るのを防ぎましょう」とか、まるで患者さんを診察、処方してカルテを書き、時には手術するようなお医者さんのような仕事だ。前半時代に難産で取り上げた赤ちゃんが大人になって怪我をして来院し、術後のリハビリに付き添ったこともある。

そこで扱った品質問題は枚挙にいとまがない。どこのゼネコンも同じだと思うので、敢えて恥を忍んで言うと、ひび割れや漏水の他、工事期中の配筋や差筋間違い、ベースプレートの位置間違い等々、カルテを何枚も書いた。

しかし、不思議と鉄筋継手の不具合を扱ったことはほとんどない。せいぜい、機械式継手のスリーブに対して鉄筋の嵌合が数ミリずれている的な不具合(つまり図面どおりに施工されていない)が、数年に一度あるかないかの頻度で発生する程度である。あるいはまた、改修工事で、不具合のある鉄筋を研り出して新しい鉄筋に取り替えて、重ね継手や溶接で繋ぐとか(これは継手の不具合ではないが)、こんな時にしか本社としては鉄筋継手を意識させられることがない。もっとも、数ある鉄筋継手の技術は完成されており(もちろん改良を重ねながら)、施工と検査体制も確立しているから、不具合が起きようもないというのが私の認識である。昔、建物をプラモデルに例えた先輩研究員に対して、医者としての私は「杞憂に終わりましたね。」と言って差し上げたい。

思い返してみると、入社直後、事務所ビルの現場に配属された私の初仕事は、ガス圧接継手の試験片を職人さんに切り取ってもらい、それを3~5本番線で結んで(これが重い!)事務所を持って帰ることだった。そして会社人生の終わりの時期に、協会のお手伝いをさせていただきながら、今こうして鉄筋継手のことを綴っている。深からず、でも浅からぬ鉄筋継手との縁は多分切れない。

(株式会社竹中工務店 生産本部 品質部 専門役)

第60回定時総会報告

2021年度事業報告及び2022年度事業計画・収支予算報告、2021年度収支決算報告及び監査報告、役員報酬、役員選任を承認

第60回定時総会は、2022年6月17日（金）に会員の皆様の出席を伴わないWEB会議による開催とし、役員等が参加し執り行った。なお、例年、総会と同日同会場で開催している日本鉄筋継手協会賞表彰式、調査研究発表会及び総会懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の一環として中止とした。

定款13条に定める総会の構成は、正会員381名、名誉会員18名、特別会員378名、合計777名であり、定款18条に定める総会成立の要件である定足数は389名である。出席者は、WEBによる出席88名、定款21条に定める書面による出席573名の合計661名となり、定足数389名を満足することから、本総会が有効に成立した旨の報告がなされ、開会が宣言された。

開会にあたり、勝木太会長より挨拶があった。この後、会長を議長に選出し、議事録署名人として正会員である草間孝氏と高橋光広氏を選出し、議事次第に則

り、議事に入った。

〔報告事項〕

冒頭、議長より、定款第46条2項に基づく事業報告、及び定款45条第1項及び第2項に基づき理事会の承認を得た事業計画書及び収支予算書の報告を行うことが説明された。なお、2022年度の事業計画書及び収支予算書は、認定法（公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律）に基づき2022年3月31日付けで内閣府に提出したことが併せて説明された。

(1) 報告事項 その1 2021年度事業報告

議長は、報告事項その1として2021年度事業報告を上程し、関洋之副会長より報告された。

2021年度資格試験・検定試験合格者数及び資格者数は下表のとおりである。

表1 2021年度資格試験・検定試験合格者数及び資格者数
(単位：人)

資格	合格者数	資格者数
継手管理技士	482	881
手動ガス圧接技量資格者	828	2,384
自動ガス圧接技量資格者	0	4
熱間押抜ガス圧接技量資格者	63	162
高分子天然ガス圧接技量資格者	117	322
水素エチレン混合ガス圧接技量資格者	9	19
鉄筋溶接技量資格者	142	287
機械式継手主任技能者	38	449
鉄筋継手部検査技術者	321	2,362
熱間押抜検査技術者	43	210

(2) 報告事項 その2 2022年度事業計画

続いて議長は、報告事項その2として2022年度事業計画を上程し、関洋之副会長より報告された。

(3) 報告事項 その3 2022年度収支予算

続いて議長は、報告事項その3として2022年度収支予算を上程し、塩手博道理事より報告された。

挨拶

会員の皆様には、平素より当協会の事業に対しまして格別なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年度の総会も、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大のため、会員の皆様のご健康と安全を守る観点より、会員の皆様のご出席を伴わない書面表決によるWEB開催とさせていただきました。

さて、皆様には既にお知らせをしておりますが、このたびの不祥事により、関係各所の皆様からの信頼を大きく損ない、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この反省を踏まえ、公益法人の社会的価値のもと、いかなる時も法令及び社会規範に従い、鉄筋継手に関わる皆様からの信頼の回復と社会的価値の向上に努めて参ります。会員の皆様のご理解、またご協力を賜りたく、なにとぞよろしくお願いたします。

公益社団法人日本鉄筋継手協会
会長 勝木 太

表2 2022年度収支予算

科 目	予算額	2021年度に 対する増減額
I 事業活動収支の部		
事業活動収入	171,640,000	-8,624,000
事業活動支出	184,731,000	4,467,000
事業活動収支差額	-13,091,000	-13,091,000

以上について、議長より、議場に質疑を確かめたところ質疑は無く、3件の報告事項は了承された。

〔決議事項〕

(1) 第1号議案 2021年度収支決算報告及び監査報告の件

議長は、第1号議案として2021年度収支決算報告及び監査報告の件を上程し、関洋之理事より2021年度収支決算報告がなされた。また、柿沢忠弘監事より2021年度収支決算報告は適正であるとの監査報告についての報告及び報告の一部「事業報告等の監査結果2. 監査意見1・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは、定款に違反する重大な事実は認められません」を削除することについて説明がなされた。議長より削除箇所等の質疑を確かめ賛否を問うたところ、出席した正会員等の過半数以上の賛成を得て、第1号議案は承認可決された。

表3 2021年度収支決算

科 目	決算額	2021年度予算に 対する増減額
I 事業活動収支の部		
事業活動収入	172,477,692	-7,786,308
事業活動支出	168,181,330	12,082,670
事業活動収支差額	4,296,362	4,296,362
II 投資活動収支の部		
投資活動収入計	0	-
投資活動支出計	2,490,000	-
投資活動収支差額	-2,490,000	-
III 財務活動収支の部		
財務活動収入	0	-
財務活動支出	5,712,348	-
財務活動収支差額	-5,712,348	-
当期収支差額	4,296,362	-
前期繰越収支差額	208,991,516	-
次期繰越収支差額	209,255,976	-

(2) 第2号議案 公益社団法人日本鉄筋継手協会定款一部変更の件

議長は、定款変更は定款第49条により総正会員等の3分の2以上が必要となるため、あらためて本定時総会出席者数と委任状の数を確認した結果、議決の必要

数519名に対して661名となり、議決に必要な定足数を満足していることを確認した。続いて、議長は、第2号議案として公益社団法人日本鉄筋継手協会定款一部変更の件を上程し、関洋之副会長より説明がなされた。

議長より、質疑を確かめ賛否を問うたところ、総正会員等の3分の2以上の賛成を得て、第2号議案は承認可決された。

(3) 第3号議案 2022年度役員報酬の件

議長は、第3号議案として2022年度役員報酬の件を上程し、関洋之副会長より説明がなされた。

議長より質疑を確かめ賛否を問うたところ、出席した正会員等の過半数以上の賛成を得て、第3号議案は承認可決された。

(4) 第4号議案 役員選任の件

議長は、第4号議案として定款第24条第1項に基づき、任期満了等となる理事5名について、次の理事候補者5名を提議し、候補者ごとに個別にその賛否を問うたところ、それぞれ出席した正会員等の過半数以上の賛成を得て、第4号議案は承認可決された。

(5) 第5号議案及び第6号議案について

第5号議案及び第6号議案については、定款に則り継続審議となった。

2022年調査研究発表会報告



技術委員会
委員長 衣笠 秀行

1. はじめに

従前より、対面式で開催されていた、調査研究発表会であるが、2020年から流行する新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2021年度より、調査研究発表会は、本協会ホームページでの発表とし、動画配信による開催方式としている。

また、動画配信方式により、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点だけではなく、本協会が行っている調査研究について、広範にわたり活動報告することが可能となっている。

2022年の調査研究発表会については本協会ホームページ内「2022年 調査研究発表会」に掲載されており、動画及び報告内容の資料の閲覧が可能となっている。

詳細については、本協会ホームページ内の「情報→調査研究発表会→2022年調査研究発表会」もしくは、下記URLをご参照されたい。

(URL <https://jrji.jp/page-1335/>)

2. 調査研究発表

今回の発表課題及び発表者は、以下のとおりである。

- 1 技術委員会活動報告
「2021年度の活動状況について」
技術委員会 委員長 衣笠 秀行
- 2 非破壊検査小委員会活動報告
「2022年以降の予定」
非破壊検査小委員会 委員長 森濱 和正
- 3 機械式継手性能小委員会
「品質管理のためのチェックシート（端部ねじ加工継手）及び小委員会の今後の課題」
機械式継手性能小委員会 副委員長 福島 順一



写真1 調査研究発表会 活動報告一例

3. 2022年度調査研究テーマの概要

調査研究発表の中で説明があった2022年度の調査研究の項目および課題は次のとおりである。

- 1 非破壊検査小委員会
 - 1) ガス圧接継手における二面振動子斜角探触子法に関する調査研究
 - ・二面振動子斜角探触子からの発信超音波の伝搬経路の解明
 - ・探傷試験結果と引張試験結果との関係
 - 2) JISの2024年改正に向けた検討
 - ・検討を行うのは、JIS Z 3062 ガス圧接継手（2014年改正）、JIS Z 3063 溶接継手（2019年制定）、JIS Z 3064 機械式継手（2019年制定）
- 2 機械式継手性能小委員会
 - 1) チェックシートの適用拡大
 - ・サイクル工程確認書と検査報告書の利用拡大
 - 2) チェックシートを適用したゼネコンへのアンケート
 - ・不具合要因分析等
- 3) 端部ねじ加工継手のチェックシート発行
- 4) プロセス管理の妥当性判定ルールの検討
- 5) モルタル充填継手チェックシートの完成

4. 2022年度技術委員会活動について

調査研究発表の中で説明があった、2022年度の技術委員会の活動については、次のとおりである。

- 1 鉄筋継手工事標準仕様書の改訂の検討
2017年に改訂された鉄筋工事標準仕様書（ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手）の改訂について検討
- 2 各小委員会活動の継続
ガス圧接継手、溶接継手、機械式継手及び非破壊検査に関する各小委員会活動を継続し、鉄筋継手の信頼性及び技術の向上に寄与する。

本協会では、引き続き、鉄筋継手全般の品質確保及び向上のため、調査研究を進めていく。

（東京理科大学 教授）



優良会社認定委員会
委員長 勝木 太

2021年度優良圧接会社及びA級継手圧接施工会社 認定結果について

1. はじめに

本協会の優良圧接会社認定制度は、高品質のガス圧接継手を社会に提供するために圧接施工体制、品質管理体制及び品質管理能力が一定水準以上である圧接会社を優良圧接会社として認定するもので、1997年より運用されている。

一方、A級継手圧接施工会社認定制度は、平成12年建設省告示第1463号に対応した「引張力の最も小さい部分以外の部分」に使用できる高性能のガス圧接継手を施工することができる会社として、優良圧接会社のうちからA級ガス圧接継手の施工管理を確実に行う体制を具備した圧接会社を認定するものである。

2. 2021年度の認定審査の経緯

1 2021年度の申請

2020年度審査は新型コロナウイルス感染症拡大により、延期となったため、前期と後期の年二回の方式に変更した。前期の認定申請（5月～6月）では、2020年度に延期した会社を対象に募集を行った。優良圧接会社は更新33社、新規10社、A級継手圧接施工会社は更新29社、新規6社であった。後期の認定申請（11月～12月）では、当該年度の優良圧接会社並びにA級継手圧接施工会社の募集をそれぞれ行った。優良圧接会社は更新33社、新規9社、A級継手圧接施工会社は更新32社、新規6社であった。

2 2021年度の審査

審査方法は一次審査と二次審査の二段階方式となり、前期審査は、7月から11月に実施した。12月上旬に開催された優良会社認定委員会において審査の評価結果の審議を行い、その後に開催された理事会において認定が承認された。また、後期審査は、1月～4月に実施した。

3 2021年度の審査結果

1) 優良圧接会社

審査結果を受けて、前期では、更新25社、新規7社が、後期では、更新27社、新規8社が優良圧接会社に認定された。

2) A級継手圧接施工会社

審査結果を受けて、前期では、更新22社、新規6社が、後期では更新23社、新規2社がA級継手圧接施工会社に認定された。

3. 2021年度の認定における講評

1 申請について

2021年度は、2.1の申請状況であったが、毎年、多数の新規及び更新の申請がある。これは、申請会社が優良圧接会社認定及びA級継手圧接施工会社認定を維持し、圧接継手の高い品質と信頼性を確保したいという意識のあらわれだと考えられる。

2 審査について

優良圧接会社は、一次審査で書類審査を行い、二次審査では実施記録及聴聞による審査を実施している。

一次審査の書類審査は、標準仕様書及び認定規定についての正しく理解し、申請会社の管理方針等の審査書類が整備されているか審査する。

二次審査では、実態書類及び聴聞で、そのエビデンス資料が管理方針に基づいて正しく記載および保存されているか審査する。

なお二次審査は対面方式で行うため、新型コロナウイルス感染症対策として、ホテルなどの審査会場にて実施した。

3 認定について

認定不可の理由としては、一次審査では標準仕様書及び規定内容に対する基本的な理解不足が多く目立った。

二次審査では、作業日報の記録整理や自主検査における手直しの記載が要求事項を満たしていなかった。さらに、自主管理検査者が規定に基づいた自主管理パトロールを正しく実施していなかったことなどが挙げられる。

また、A級継手圧接施工会社は、施工前試験等の記録の不備が顕著な認定不可の理由であった。

以上のことから、作業や補助者は日々の基本的な取り組みを行っているか、品質管理責任者は会社組織

と個人で有機的な品質管理が機能しているかを考えながらPDCAサイクルを実践していくことが重要であろう。

優良圧接会社又はA級継手圧接施工会社の認知度は年々高まり、高品質で確実な施工への期待が寄せられている。認定会社の日々の取り組みや切磋琢磨する姿勢が品質管理の向上につながることで、認定会社の企業価値がより高まることを期待したい。

4. 2021年度認定会社

1 前期 優良圧接会社 32社 (32事業所)

□新規認定 7社 (7事業所)

(株)トーアツ中部、(株)サンエーテクノ、イワタ継手鋼業(株)、長田ガス圧接(株)、東海継手工業(株)、(株)和興、(株)共圧

□更新認定 25社 (25事業所)

近畿圧接(株)、伸栄工業(株)、(有)平野工業所、(株)フクアツ、(株)九州ワーク、(有)山田ガス圧接工業、(株)草間ガス圧接工業、(有)深田工業、(株)武蔵野、大成ガス圧接(株)、東海ガス圧接(株)、(株)東圧、(株)東京ガス圧接、(株)新栄ガス圧接、(有)宍戸工業、(株)大場工業、城南ガス圧接(株)、(株)嘉藤工業所、(有)伊藤ガス圧接、(有)共同ガス圧接、(有)ユーシン工業、(有)三河工業、(株)SUGAYA、アイズ継手技工(株)、(株)W.E.L.T

2 前期 A級継手圧接施工会社 28社 (28事業所)

□新規認定 6社 (6事業所)

(株)森本ガス圧接、(有)新成工業、松英工業(株)、東洋ガス圧接(株)、(株)佐々木工務店、(株)ササキ

□更新認定 22社 (22事業所)

近畿圧接(株)、伸栄工業(株)、(株)フクアツ、(株)九州ワーク、(有)山田ガス圧接工業、(株)草間ガス圧接工業、(有)深田工業、(株)武蔵野、東海ガス圧接(株)、(株)東圧、(株)東京ガス圧接、(株)新栄ガス圧接、(有)宍戸工業、(株)大場工業、城南ガス圧接(株)、(株)嘉藤工業所、(有)伊藤ガス圧接、(有)共同ガス圧接、(有)ユーシン工業、(有)三河工業、(株)SUGAYA、アイズ継手技工(株)

3 後期 優良圧接会社 35社 (35事業所)

□新規認定 8社 (8事業所)

(株)甲斐ガス圧接、(有)田塾ガス圧接、(有)新葉、(株)齋藤興業、(株)K・テクノ、(株)増田工業、(有)沖縄ガス圧接、

(株)AIWA (沖縄営業所)

□更新認定 27社 (27事業所)

(株)AIWA本社、松栄工業(株)、協和圧接工業(株)、大兼工業(株)、(株)田頭工業、(株)前田ガス圧接工業、(有)竹下圧接、太陽圧接(株)、(株)大隅工業、(有)中越ガス圧接工業、(株)九州高野、日圧(株)、(株)豊成、(有)ツルミ圧接、(株)ダイイチ、(株)創栄工業、新鉄工業(株)、(有)村吉ガス圧接工業、大野ガス圧接(株)、(有)大東圧接、平木工業(株)、栄進工業(株)、(有)シロイ圧接、(株)アクティス、(株)シンエイ、(株)奥谷圧接、北陸ガス圧接(株)

4 後期 A級継手圧接施工会社 25社 (25事業所)

□新規認定 2社 (2事業所)

(有)平野工業所、(有)竹下圧接

□更新認定 23社 (23事業所)

(株)AIWA、松栄工業(株)、協和圧接工業(株)、大兼工業(株)、(株)田頭工業、(株)前田ガス圧接工業、太陽圧接(株)、(株)大隅工業、(株)九州高野、日圧(株)、(株)豊成、(有)ツルミ圧接、(株)ダイイチ、(株)創栄工業、新鉄工業(株)、大野ガス圧接(株)、(有)大東圧接、平木工業(株)、栄進工業(株)、(有)シロイ圧接、(株)アクティス、(株)シンエイ、(株)奥谷圧接

2021年度優良A級継手溶接施工会社認定について

優良会社認定委員会
委員長 勝木 太



1. はじめに

本協会は、すべての鉄筋継手の品質確保のための活動の一環として、溶接継手に関して2009年2月に優良鉄筋溶接会社及びA級継手溶接施工会社の認定制度を開始した。しかし、溶接継手施工は、引張力の最も小さい部分以外に継手を設けることが多いことや、品質管理の優れた会社を全国的に提供するため、2016年4月に優良鉄筋溶接会社とA級継手溶接施工会社の認定規定等を統合し、新たに優良A級継手溶接施工会社認定制度を開始した。

2. 2021年度 優良A級継手溶接施工会社認定について

従来は、認定申請のあった溶接施工会社について、書類審査及び現地審査を実施して、各審査項目が所定の審査基準に適合しているかを評価していた。

しかし、2019年度の審査より影響を受けている新型コロナウイルス感染症が収束しないことを鑑み、安全に審査を行うため2021年10月29日に規定の改正を行った。これまで運用で行っていた現地審査に代えたWEB審査を正式に導入し、PDF方式でのデジタル申請や年2回の審査を行うこととした。2021年度前期は、新規2社、更新12社、後期は新規1社からの申請があり、審査・評価の結果、4. に示すように、前期の新規2社、更新12社及び後期の新規1社が認定された。

3. 2021年度 認定審査の講評

今回、前期、後期の申請のあったすべてが認定された。前期・後期で新規認定された3社はSG継手工法であった。SG継手工法は、本協会鉄筋溶接継手工法認定（鉄筋継手工法認定委員会）を取得した会社である。なおTW溶接継手工法も本協会鉄筋溶接継手工法認定を取得している。

更新申請のあった異形鉄筋のGE溶接継手工法及び異形鉄筋のJCe溶接継手工法は、本協会の優良制度が開始した当初から更新を継続している会社である。

また、JRJI鉄筋溶接継手工法は、本協会が開発した

工法で施工要領書や作業手順書は本協会で策定したものを利用することとなっている。

今後もA級継手の要請の高い溶接継手の品質向上を図るため、認定会社は認定された要領書に基づく確実な施工を実践していただきたい。認定会社の拡大と共に優良A級継手溶接施工会社への期待は高まっているといえる。

4. 2021年度 優良A級継手溶接施工会社認定会社

認定会社は以下のとおりである。

<前期>

□新規認定 2社（2事業所）

SG工法 /

(株)サンエーテクノ（福岡県）

(株)アイアンジョイント（熊本県）

□更新認定 12社（12事業所）

・異形鉄筋のGE溶接継手工法 /

(株)シンエイ（神奈川県）

(株)高正組（東京都）

(有)吉村工業所（千葉県）

(株)アクティス（福岡県）

・異形鉄筋のJCe溶接継手工法 /

東洋ガス圧接(株)（東京都）

(株)武蔵野（東京都）

・SG継手工法 /

(株)マツフク（広島県）

(株)光和ウエルド（鳥取県）

(株)九州ワーク（鹿児島県）

・TW溶接継手工法 /

所沢テック(株)（埼玉県）

・JRJI鉄筋溶接継手工法 /

(有)深田工業（埼玉県）

(株)アクティス（福岡県）

<後期>

□新規認定 1社（1事業所）

・SG継手工法 /

(株)大隅工業（福岡県）

2021年度優良機械式継手施工会社認定について

優良会社認定委員会
委員長 勝木 太



1. はじめに

本協会は、すべての鉄筋継手の品質確保のための活動の一環として、機械式継手に関して2020年4月に優良機械式継手施工会社の認定制度を開始した。この制度は、鉄筋の機械式継手の施工を事業とする会社について、機械式継手の施工体制、品質管理体制及び品質管理能力を審査・評価して、「優良機械式継手施工会社」の認定を行い、これを広く公表することにより、機械式継手に関する品質管理及び信頼性の向上に寄与することを目的としている。

2. 2021年度 優良機械式継手施工会社認定について

制度開始の審査より影響を受けている新型コロナウイルス感染症が収束しないことを鑑み、安全に審査を行うため2021年10月29日に規定の改正を行った。これまで運用で行っていた現地審査に代えたWEB審査を正式に導入し、PDF方式でのデジタル申請や年2回の審査を行うこととした。また、2021年度前期は、新規1社からの申請があり、審査・評価の結果、4.に示すように、前期の新規1社、が認定された。

3. 2021年度 認定審査の講評

今回の新規申請ねじ節鉄筋工法の1社で、審査の結果認定された。当該工法は、(一財)日本建築センターよりA級の評定を取得したメーカーのねじ節鉄筋工法である。本協会の優良機械式継手施工会社認定制度のもとでは、評定を取得した要領書ごとに審査を実施している。これは、同じねじ節鉄筋工法であっても、要領書の内容が異なるためそれぞれに対しての要領書、手順書並びに実施記録等を審査することにより優良会社に求められている要求事項を満たしているかを評価しているからである。また、規定の改正に当たっては、他の優良会社認定制度と同じく、自主管理パトロール(鉄筋継手部検査技術者)による品質管理の手法について足並みを揃え要求事項とした。

今後もA級継手が要求されることの多い機械式継手

の品質向上を図るため、認定会社は認定された要領書に基づく確実な施工を実践していただきたい。これからの認定会社の拡大に向けて、委員会としてもデジタル化の推進をはじめ制度の活用方法の模索や啓蒙に努めたいと考えている。

4. 2021年度 優良機械式継手施工会社認定会社

認定会社は以下のとおりである。

<前期>

□新規認定 1社(1事業所)

東洋ガス圧接㈱(東京都)

ねじ節鉄筋工法[エースジョイント、フリージョイントSA、リレージョイントSA]

※認定範囲は各メーカー(A級評定)の工法別となる。



優良会社認定委員会
委員長 勝木 太

2021年度優良鉄筋継手部検査会社認定について

1. はじめに

鉄筋継手の品質確保のためには、施工計画及び施工管理に加え、施工後の受入検査が重要な役割を果す。

このため、受入検査を行う検査会社には、鉄筋継手の検査に関する十分な技術力と施工者（元請）や鉄筋継手施工会社と利害関係のない中立・公正な第三者性が要求される。

本協会では、鉄筋継手の品質確保を図るため、「優良鉄筋継手部検査会社認定制度」を設けて、鉄筋継手の検査を行う会社に対して、第三者性（中立性・公平性）、検査体制、品質管理体制及び品質管理能力を審査・評価している。そして、合格した会社を「優良鉄筋継手部検査会社」として認定している。

2. 優良鉄筋継手部検査会社認定について

2000年度に、「優良鉄筋継手部検査会社認定制度」を施行して以来、2021年度で22回目の認定となる。

従来は、認定申請のあった検査会社について、書類審査及び現地審査を実施して、各審査項目が所定の審査基準に適合しているかを評価していた。

しかし、2019年度の審査より影響を受けている新型コロナウイルス感染症が収束しないことを鑑み、安全に審査を行うため2021年10月29日に規定の改正を行った。これまで運用で行っていた現地審査に代えたWEB審査を正式に導入し、PDF方式でのデジタル申請や年2回の審査を行うこととした。

2021年度は、新規3社、更新16社からの申請があり、審査・評価の結果、4.に示す新規2社、更新13社の計15社が優良鉄筋継手部検査会社として認定された。

3. 2021年度 認定審査の講評

今回、認定された会社は品質管理の理解と運用が日常より着実に取り組まれていることが評価されている。また審査を通して、記録媒体のデジタル化が着実に進んでいることがわかった。新規及び更新の認定会社におかれては、日々の品質管理の維持に努め、一層の品質管理の向上に励んでいただきたい。

今後、本委員会の審査・認定活動ではデジタル化の推進など新たな方法を導入しながら、さらなる鉄筋継手の品質の向上を目指していく所存である。

4. 2021年度 優良継手部検査会社認定会社

認定会社は以下のとおりである。

- 新規認定 2社（2事業所）
 - （株）相模理工（神奈川県）
 - （有）ティア鹿児島（鹿児島県）
- 更新認定 13社（13事業所）
 - （有）京浜材料試験（神奈川県）
 - 三友エンジニアリング（株）（千葉県）
 - （有）佐賀検査サービス（佐賀県）
 - （株）ジャスト（神奈川県）
 - （有）ユーテー・サイエンス（青森県）
 - 北日本非破壊検査（株）（新潟県）
 - 京浜検査工業（株）（神奈川県）
 - （株）ダンテック（大阪府）
 - （株）テストサービス（東京都）
 - 日本工業検査（株）（神奈川県）
 - （株）関東エンジニアリングサービス（茨城県）
 - （株）インテック（東京都）
 - （株）サンテクノス（島根県）

2021年度優良溶接せん断補強筋製造会社認定 について

優良溶接せん断補強筋製造会社認定委員会
委員長 衣笠 秀行



1. はじめに

現在、建設現場で使用している溶接閉鎖型せん断補強筋は、工場において、鉄筋を切断し所定の形状に曲げ加工した後に、溶接機を使用して鉄筋端面を突合せアプセットバット方式又はフラッシュバット方式で溶接して製造される。溶接閉鎖型せん断補強筋は、溶接継手の一種であるとみなされ、継手部の性能が鉄筋母材と同等以上であることが要求されるため、各せん断補強筋製造会社は、製造工場ごとに(一財)日本建築センター等でA級継手評定(認定)を取得している。

近年、地震時における柱や梁のせん断破壊を防止するためのせん断補強筋の役割が重視されるようになったことから、補強筋の端部フックに代わり溶接閉鎖型とする設計が行われ、溶接閉鎖型せん断補強筋を製造する工場が増えてきている。しかし、製造工場の中には品質管理に問題があり、建設会社の現場における受入れ時の引張試験で溶接部破断する事例が見られるようになった。

このような背景から、当時の(社)建築業協会(現:(一社)日本建設業連合会)からの要請もあり、本協会では、溶接閉鎖型せん断補強筋の製造会社(工場)の品質管理レベルの向上と、溶接閉鎖型せん断補強筋の品質の信頼性向上を図るために、2010年10月より、「優良溶接せん断補強筋製造会社認定制度」の運用を始めた。

2. 認定の状況

本認定制度を開始してから10年以上経過した。この間、毎年、新規と更新あわせ20工場程度の認定申請があった。

本年度の申請は、2021年11月から12月までに行われ、新規5社5工場、更新7社10工場の申請があった。2022年2月から優良溶接せん断補強筋製造会社認定規定の審査基準に基づき、申請会社に対して審査員2名による審査を開始し、4月上旬までに審査を終了した。

4月9日の幹事会において検討した結果、申請された全社・全工場が認定に必要な評価基準を満足してい

ることが確認された。4月13日の優良溶接せん断補強筋製造会社認定委員会において、幹事会からの評価結果を審議し、申請された全社・全工場が認定され、理事会に上程して認定の評価結果が承認された。

3. 会社(工場)認定審査について

本認定審査は、優良溶接せん断補強筋製造会社認定規定に基づいて行われる。実施細則には、製造体制、品質管理体制、品質管理能力の各項目に関して、審査内容等が示されている。

4. おわりに

これまでコロナウイルス感染症対策として規定にはないWEB審査を行ってきた。2021年度審査は、規定の改正により、申請会社のご協力を得ながら現地審査に代えたWEB審査を行うことになった。一方、WEB審査では、限界も考えられることから、必要に応じて現地審査も併せて行うこととし、工場の品質管理の実態を適切に把握できるように審査方法を見直した。

本認定制度の普及により全国的に認定工場が広がった。これは認定会社及び認定工場の絶え間ない品質管理への取り組みと制度のご理解とご協力があったことに他ならない。この場を借りて感謝を申し上げる次第である。

これからも本認定制度が、品質の高い溶接閉鎖型せん断補強筋の供給に貢献し、安全・安心な都市づくりの一助となることを期待する。

□新規認定 新規5社5工場

(株)佐藤製線所	本社工場(宮城県)
共英加工販売(株)	本部工場(山口県)
(株)青山商事	宇治第2工場(京都府)
コーリョー建販(株)	コーリョー開発(株)愛知工場 (愛知県)
北興昭和(株)	本社工場(北海道)

□更新認定 更新7社10工場

(株)ワイビーテクノ	本社工場(茨城県)
共英加工販売(株)	大阪工場(大阪県)

(株)小財スチール	大刀洗工場（福岡県）
大雅工業(株)	本社工場（兵庫県）
宮城昭和産業(株)	第二工場（宮城県）
(株)トーアミ	中部事業部愛知第三工場 （愛知県）
(株)トーアミ	中国事業部岡山第二工場 （岡山県）
(株)トーアミ	関東事業部千葉工場（千葉県）
(株)トーアミ	関西事業部奈良第二工場 （奈良県）
住倉鋼材(株)	本社工場（福岡県）



工事報告

(仮称)ヴェルディ宇品東6丁目新築工事

東亜建設工業(株)西日本建築支店
広島営業所

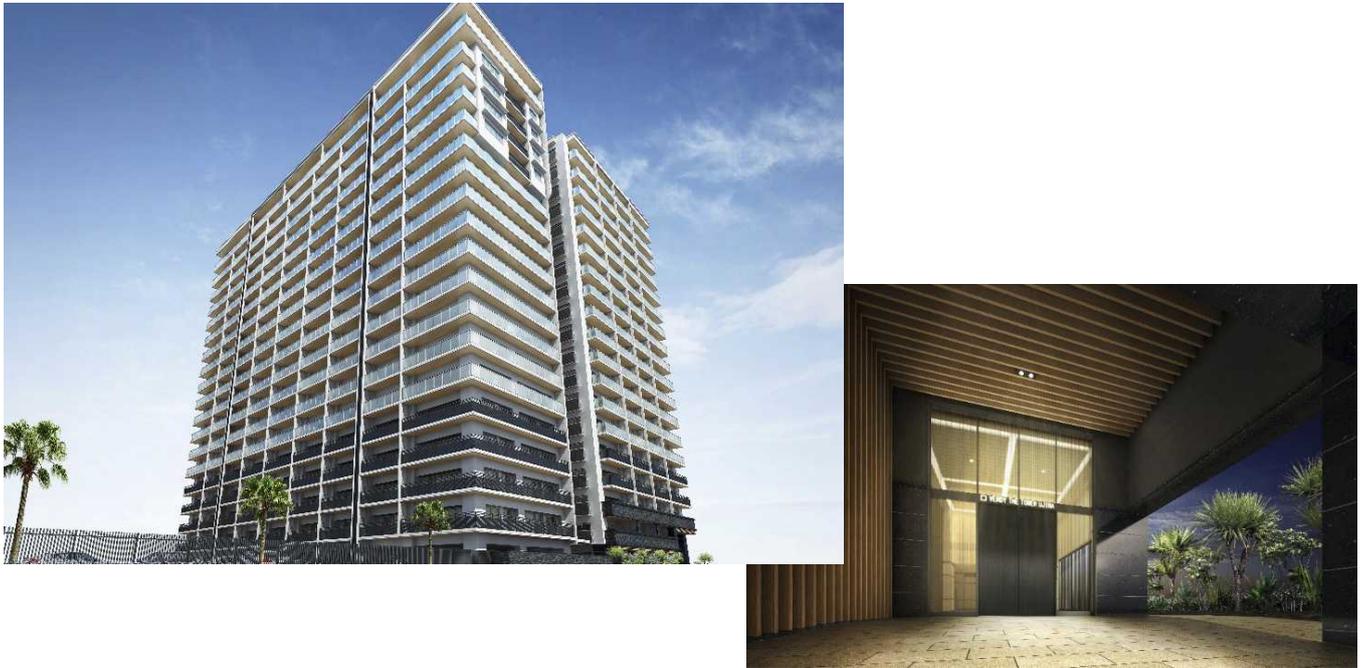


図1 完成パース

1. 計画概要

本計画は、広島市南区宇品東の近隣商業地域及び第二種住居地域に位置し、(株)信和不動産が手がける集合住宅(総戸数233戸)の新築工事である。

本建物は、『かつてない宇品へ』をキーワードとして、商業施設隣接、広島駅や都心へのアクセスにも恵まれた立地条件を背景に計画されたものであり、令和5年4月には「ヴェルディ・タワーヴィレッジ宇品」として完成する。

本計画では北棟(19階建-4スパン)と南棟(19階建-9スパン)がエキスパンジョイントで連結されている。南棟19階に関してはプレミアムプランとして、開放感と機能性を追求した、寛ぎの空間となっている。

またラウンジ、オーナーズジム、パーティールーム、キッズルーム、ワーク&スタディラウンジなど日々の生活を彩る充実した共用施設が用意されている。

本工事報告では、この鉄筋コンクリート造の集合住宅の新築工事における鉄筋継手工事について報告する。

2. 工事概要

本工事の概要を以下に記す。

- 工事名称：(仮称)ヴェルディ宇品東6丁目新築工事
- 工事場所：広島県広島市南区宇品東6丁目868-4
- 発注者：(株)信和不動産
- 設計管理：(有)コアティ建築設計
- 施工者：東亜建設工業(株) 西日本建築支店 広島営業所
- 工期：令和2年10月19日～令和5年4月19日
- 構造種別：鉄筋コンクリート造
- 階数：地上19階
- 敷地面積：7,555.48㎡
- 建築面積：1,626.75㎡
- 延床面積：20,865.95㎡
- 用途：共同住宅分譲マンション(233戸)
- 鉄筋継手工法：手動ガス圧接工法
- 圧接施工業者：(株)広島ガス圧接

4. 鉄筋継手工事概要

(1) 鉄筋継手工法と継手箇所数

本工事における鉄筋継手工法は手動ガス圧接を採用した。ガス圧接継手は信頼性が高く、当社施工のヴェルディシリーズで多数の施工実績もあり、コストを含めて検討した結果、ガス圧接継手が最適と判断したことが、この継手工法を採用した理由である。

本工事における柱、梁の主筋の鋼種はSD345及びSD390であり、鉄筋径はD19～D35である。

表1 ガス圧接継手箇所数

	鉄筋材種	鉄筋径	継手箇所数
北棟	SD-345	D-19	113
		D-22	538
		D-25	504
	SD-345・390	D-25+D-29	312
	SD-390	D-29	3,189
		D-29+D-32	320
		D-32	2,882
D-32+D-35		320	
南棟	SD-345	D-19	316
		D-22	1,830
		D-25	1,711
	SD-345・390	D-25+D-29	540
	SD-390	D-29	3,407
		D-29+D-32	460
		D-32	7,188
D-32+D-35		588	
合計			9,364
合計			40,226

圧接継手工事は、「ガス圧接継手工事施工要領書」に基づき、図4の圧接作業手順で行われている。また、ガス圧接施工箇所数は表1のとおりである。

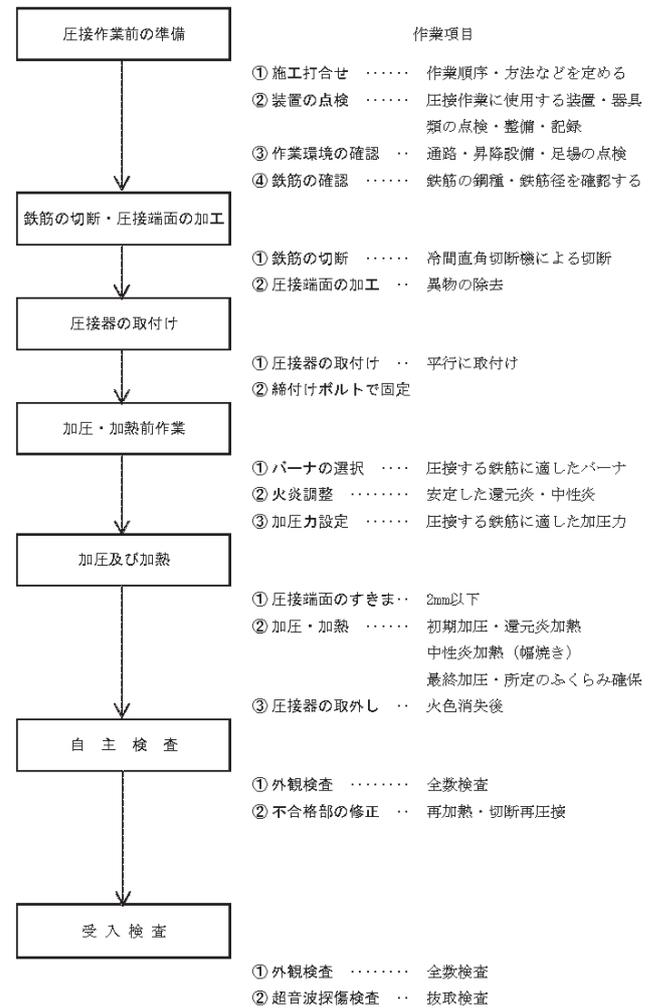


図4 圧接作業手順



(2) 鉄筋継手工事の施工管理

ガス圧接継手工事の施工管理のために、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年度版（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に基づき、圧接作業の工程、品質管理、安全管理、検査などを記載した鉄筋ガス圧接継手工事施工計画書を作成している。また、継手を施工する圧接施工会社は、（公社）日本鉄筋継手協会認定の優良圧接会社を選定して、手動ガス圧接技量資格者にて圧接作業を行っている。

圧接施工会社は、鉄筋ガス圧接継手施工要領書に基づいて、鉄筋の圧接端面の切断は鉄筋冷間直角切断機を用いて行い、圧接器取付、加圧及び加熱を行い、圧接器を取り外した後の自主検査として全数外観検査を実施し、自主検査としての超音波探傷検査を実施している。

写真1に手動ガス圧接技量資格者確認の状況を示す。

写真2及び写真3にそれぞれ柱筋、及び梁筋のガス圧接継手の施工状況を示す。



写真1 手動ガス圧接技量資格者確認状況

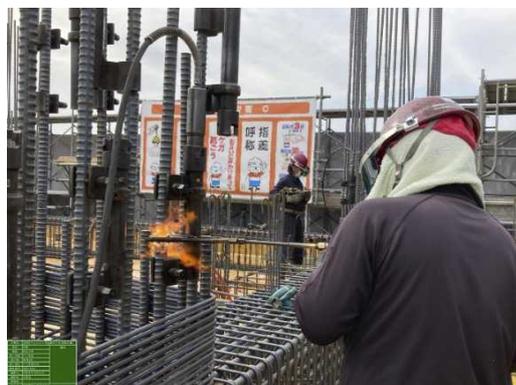


写真2 柱筋のガス圧接継手施工状況

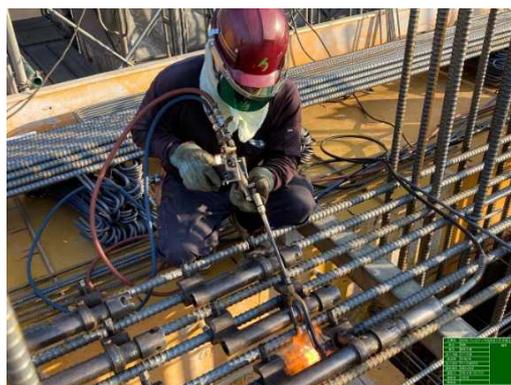


写真3 梁筋のガス圧接継手施工状況

(3) 受入検査方法

施工者による受入検査では、施工後の全数外観検査及び検査機関による外観検査及び超音波探傷検査を行っている。

全数外観検査は、施工者の工事担当が行い、受入検査表に記載、提出する。超音波探傷検査は、鉄筋接手部検査要領書に基づき、1検査ロットは、1組の作業員が1日に行った圧接箇所とする。検査の箇所数は1検査ロットに対して30箇所とし、ロットから均等になるよう、無作為に抜き取る。検査に従事する技術者は鉄筋接手部検査技術者が行う。超音波探傷試験は、専用探傷器及び汎用探傷器で行う。

写真4は梁筋の超音波探傷試験の状況を示す。



写真4 梁筋超音波探傷試験状況



(4) 機械式定着板 (DBヘッド定着工法) の採用

建物の高層化等により鉄筋太径化・使用本数の増加による仕口部の納まりが困難になってきている。

建物の高い品質を確保する為に図5に示す機械式定着板 (DBヘッド定着工法) を採用することにより、仕口部の納まりを改善し、コンクリートの充填性も改善しました。又、定着長が直接確認出来ることで管理もしやすくなり、より品質の高い建物をお客様に提供できる様にした。又、機械式定着板 (DBヘッド定着工法) の施工箇所数は表2のとおりである。

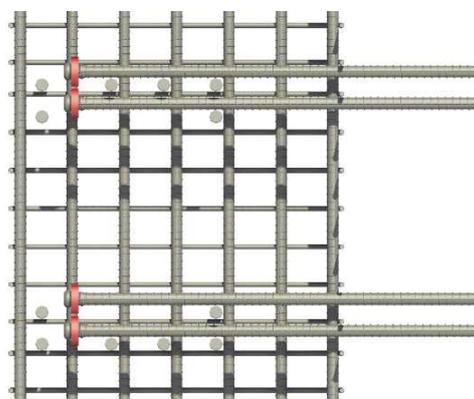
表2 機械式定着板施工箇所数

	鉄筋材種	鉄筋径	継手箇所数
北棟	SD-390	D-29	1,215
		D-32	1,804
		D-35	1,614
南棟	SD-345	D-22	2,304
		D-25	848
	SD-390	D-29	668
		D-32	944
		D-35	898
合計			10,295

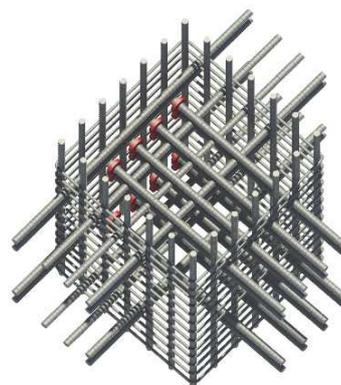
5. 最後に

本工事は、令和5年4月の完成・引渡しを目指して進められている。現在までに、ガス圧接継手工事は、受入検査における超音波探傷検査結果も良好で、順調に工程通り推移している。

今後も、建物の安全性に対する鉄筋継手の品質の重要性を認識し、十分な品質管理を行っていく。



(a) 縦断面図



(b) 3D図

図5 DBヘッド定着工法



公益社団法人 日本鉄筋継手協会
顧問 岡野 素之

東海地震が来ると警鐘が鳴らされたのは1970年代で中学生の頃だったと思う。住んでいた静岡県ではその後学校などの公共施設が次々と建て替えられた。

1978年初夏、仙台で宮城県沖地震に遭遇した。大学の学生実験を終えて部活に参加しようとバイクを止めた矢先、激しい揺れを感じた。並んだ自転車が波を打つように次々と倒れ、木造モルタル仕上げのサークル棟は今にも倒れそうに揺れた。地鳴りを聞いたような気もする。解散になってアパートへ急ぐのだが停電で信号が消え大渋滞であった。帰って真っ暗な中で布団の上に散乱したものを手探りで片づけ、残り物を食し寝るしかなかった。翌日大学に行くと土木建築の学科の棟はあちこち傷んでいた。講義があったのかは覚えていないが実験レポートの締め切りは変わらなかった。復旧まで電気水道は1日、ガスは2か月かかった。

1995年の兵庫県南部地震は会社(ゼネコン技研)に行く途上で先輩から知らされた。朝7時頃のニュースでは淡路島で老人が瓦に当たってけがをした程度だった。関西に地盤のある会社のためか社内は緊張した様子で、現地支援と被害調査を兼ねて私を含め数人が急遽向かうことになった。とはいっても交通事情により結局次の日に東京を出た。新幹線は名古屋までの運行でそこから近鉄で大阪入りし、本店ビルで打ち合わせ後大阪泊、翌早朝大阪港からチャーターした船で神戸港に向かった。この船便はその後も自転車や食料などを運びつづけた。港の船着き場は液状化でガタガタなので飛び移るように上陸したが、街を見渡すとあちこちでビルが傾いていて愕然とした。騒然とした支店で指示を仰ぎ、いくつかの被害調査を受け持つことになった。余震が続いているので二次災害を避け2人組、徒歩である。街中にガラスなどが散乱した落ちてくるかもしれないので、初めは恐る恐る歩くのだが2日目には慣れてしまった。三宮の地下駅は中柱が軒並みせん断破壊し、さながら室内実験そのままであった。多くの柱を被害程度で分類しマークを付け日々の沈下を観察する。道具は持って行ったものとマジック、鋼尺しかない。並行して鋼製支持材の段取り、設置の立

ち合い、市役所との情報交換をする。ホテルは休業でビルのあるフロアに大量の布団と弁当が用意され一週間ほどそこに寝泊まりした。インターネットは一般的でなく、携帯もデジカメもない時代である。

2004年の新潟県中越地震では、上越新幹線のトンネルが崩落したので東北新幹線の郡山から磐越西線で新潟に行き、柏崎から現地に仮設トイレを運ぶトラックに同行して長岡に入った。すでに自衛隊の輸送隊(?)が構えていた。頭が車の天井にぶつかる程の大きな余震があり、高架橋周辺の調査のみで、空路大阪経由で帰途についた。搭乗待合のTVで、地震で埋まった母子の乗る自動車から幼児が救出された映像が中継され涙が止まらなかった。

2011年の東北地方太平洋沖地震は、少し交通状態が回復した5月3日から3日間土木学会からの派遣として、埼玉大学の陸好教授をリーダーに院生2名合わせて4人で向かった。高速で一路岩手の海岸に向かいその後再開した国道を南下するルートなのだがとにかく遠い。朝大宮を出て岩手に入ったのが13時過ぎ、ここから山越えて鳥越(しまのこし)については16時過ぎだった。初めて見る津波の痕跡は、以前の生活がわからないほど何もかも持って行ってしまい、壊れたインフラと砂のみが残されていた。「トモダチ作戦」で汗を流す米軍兵に頭が下がる思いであった。三陸から宮城に至る港が全て被害を受けていることに衝撃を受けつつも次第に慣れてくる。ところがある場所で捜索を続ける多くの自衛隊員を見かけた。後に多くの人命が失われた石巻の大川小学校であることを知った。

東海地震の警鐘から半世紀の年月が流れるなかで、多くの地震被害が発生してきた。もはや震度階7は日本中で起きる。大学で教壇に立つようになってから、土木工学を学ぶ学生に毎年次のように伝えている。

「日本は世界一自然災害が起こる国だ。皆さんはどこに就職しようとも数十年の任期中に巨大災害に必ず遭遇する。エンジニアとしてその時に備えて研鑽し、社会のために活躍してほしい。」

(公立前橋工科大学 社会環境工学科教授 岡野素之)



■ 第547回定時理事会報告

2021年7月30日に、定款第36条に則り、理事総数20名中、出席19名、欠席1名を確認し、本理事会は成立した。

A. 主な審議事項

1. 第546回及び第1回臨時理事会議事録の確認について

同理事会の議事録については、2021年度臨時理事会で承認を得ていることが報告され了承した。

2. 会員資格の件

入会8件について審議がなされ、全会一致の賛成をもって原案が承認された。また、退会、代表者変更及び住所変更について報告がなされ了承した。

3. 2021年度第1四半期収支報告

収支報告について審議がなされ、全会一致の賛成をもって原案が承認した。

B. 主な報告事項

一般社団法人・財団法人法、第91条第2項の定めに従い、会長、副会長及び専務理事より職務の執行状況に関する報告がなされた。併せて、各委員会を担当する理事より、委員会の活動状況に関する説明及び報告がなされた。

1. 会長報告

会長より次の報告がなされた。

- ・名誉会員町田篤彦元会長ご逝去について報告がなされ、了承した。
- ・鉄筋継手検査業協会から3件のご意見が送られてきたので、ご意見毎に各担当委員会で検討・審議するよう依頼することが報告され了承した。

2. 各委員会報告

各担当理事より次の内容による報告がなされ、了承した。

(1) 総務財務委員会報告

- 1) 2021年度第1四半期収支報告
- 2) 日本鉄筋継手協会支部担当地区変更に伴う支部名称の変更の件

3) 協会事務所等移転完了報告

4) 委員会委員の構成についての問い合わせへの回答

(2) 国際対応委員会報告

- 1) 2020年度11月9日以降の経過報告
- 2) 今後の予定(2021年9月ISO/TC44/SC10会議開催予定)

(3) 要員認証管理委員会報告

- 1) 2021年度協会定時試験及び講習会等実施予定について
- 2) 日本鉄筋継手協会資格者試験制度規則改正の件
- 3) 日本鉄筋継手協会技量検定等共通規定制定の件
- 4) 鉄筋継手部検査技術検定規定改正の件
- 5) 要員認証管理委員会権限の一部を担う業務執行担当者の選定について
- 6) 2021年度5月20日以降の技量資格者認証報告
- 7) 要員認証品質マニュアル最新版による教育訓練の実施

(4) 継手管理技士試験委員会報告

- 1) 2021年度第1回継手管理技士資格試験問題の件
- 2) 継手管理技士学科試験実施要領運用の件
 - ・COVID-19拡大防止対策ガイドラインへの対応
 - ・新設の鉄筋継手部検査管理技士への対応
 - ・論述試験への対応
- 3) 2021年度第1回資格試験立会予定の件

(5) 優良会社認定委員会報告

- 1) 2021年度優良会社認定審査予定について
 - ・審査予定
 - ・申請状況
 - ・認定審査遵守事項(案)についての検討
- 2) 優良会社認定規定等見直しWGについて
- 3) 優良会社等認定料金の見直しについての検討

3. 事務局報告



次の一般報告がなされ、了承した。

- ・協会事務所等移動完了報告
- ・2021年（4月～6月度）資格試験及び技量資格検
定試験の実施状況

■ 第548回定時理事会報告

2021年10月29日に定款第36条に則り、理事総数20名中、出席19名、欠席1名を確認し、本理事会は成立した。

A. 主な審議事項

1. 第547回定時理事会議事録の確認について

内容を審議し、原案を承認した。

本日、本会での審議事項に優良会社認定に関連する案件が多いことから、定款第38条※に基づく決議を行った。

※「理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」との定めがあり、優良会社認定に関する案件について適用された。

2. 定款第40条第2項に定める委員会委員に関する件 内容を確認し、企画調整会議一任として原案を承認した。

3. 会員資格の件

審議事項である入会については、内容を審議し原案を承認した。また、報告事項である退会、代表者変更及び住所変更については了承した。

4. 2021年度第2四半期収支報告

収支報告について審議がなされ、原案を承認した。

5. 鉄筋冷間直角切断機用チップソーの更新認定の件 認定内容を審議し、原案のとおり更新申請2社を認定した。

6. 鉄筋継手工法更新認定の件

認定内容を審議し、原案のとおり更新申請2社を認定した。

7. 優良A級継手溶接施工会社認定の件

認定内容を審議し、原案のとおり更新申請12社及び新規申請2社を認定した。

8. JRJI鉄筋溶接継手工法会社認定の件

認定内容を審議し、原案のとおり更新申請1社を認定した。

9. 優良機械式継手施工会社認定の件

認定内容を審議し、原案のとおり新規認定1社を認定した。

10. 優良会社認定規定に関するご意見等について 説明がなされ、了承した。

11. 日本鉄筋継手協会優良会社認定制度規則改正の件 内容を審議し、所管の委員会に対して再検討する よう依頼することとして、原案を承認した。

12. 優良圧接会社認定規定改正の件

内容を審議し、承認した。

13. 優良A級継手溶接施工会社認定規定等改正の件

内容を審議し、承認した。

14. 優良鉄筋継手部検査会社認定規定等改正の件

内容を審議し、承認した。

15. 優良機械式継手施工会社認定規定等改正の件

内容を審議し、承認した。

16. 優良溶接せん断補強筋製造会社認定規定等改正の 件

内容を審議し、一部修正をし、承認した。

17. 日本鉄筋継手協会慶弔に関する内規の改正につ いて

内容を審議し、原案を承認した。

18. 日本鉄筋継手協会委員会規則改正の件

内容を審議し、原案を承認した。

19. 日本鉄筋継手協会支部規則改正の件

内容を審議し、内容を一部修正して原案を承認した。

20. その他

本日審議を行った優良会社認定関連案件について、当該案件の議決を留保する旨の申し出を受け、了承した。

B. 報告事項

一般社団法人・財団法人法、第91条第2項の定めに従い、会長、副会長及び専務理事より職務の執行状況に関する報告がなされた。併せて、各委員会を担当する理事より、委員会の活動状況に関する説明及び報告がなされた。

1. 各委員会報告

審議事項及び報告事項と重複する内容については省略し、次の内容による報告がなされ了承した。

(1) 技術委員会報告

1) 非破壊検査小委員会

- ・ガス圧接継手における二面振動子射角探触子法に関する調査研究
- 2) 機械式継手性能小委員会
 - ・端部ねじ加工継手の品質管理のためのチェックシート作成要領(案)
 - ・モルタル充填継手の品質管理のためのチェックシート作成要領(案)
- (2) 総務財務委員会報告
 - 1) 2021年度 第2四半期(4月～9月)収支中間報告
 - 2) 日本鉄筋継手協会支部規則改正の件
 - 3) 日本鉄筋継手協会慶弔に関する内規の改正について
 - 4) 日本鉄筋継手協会委員会規則改正の件
 - 5) 全国圧接業協同組合連合会書面に対する回答の件
 - 6) 異議申し立て審議申請書に関する件
 - 7) 2021年度 総務財務委員会開催スケジュールの確認
- (3) 要員認証管理委員会報告
 - 1) 以下の検定試験規定及び同実施要領を改正し、2021年11月1日より施行する。

継手管理技士試験規定R13、継手管理技士試験実施要領R14、ガス圧接技量検定規定R21、ガス圧接技量検定要領R26、鉄筋溶接技量検定規定R18、機械式継手技能者試験規定R5、機械式継手技能者試験要領R4、鉄筋継手部検査技術検定規定R20、鉄筋継手部検査技術検定実施要領R21
 - 2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による検定試験中止の件

2021年8月20日以降に開催を予定していた下記の検定試験を中止した。なお、受験者及び資格者保護の観点から、有資格者の適格性証明書の使用期限を伸長する特別措置を設けた。

<中止決定の検定試験>

2021年8月22日GP(関東)、28日JI(東北)、29日GP(東北)、9月4日WJ(関西)、5日GP(関西)、12日GP(関東)

<適格性証明書の使用期限伸長について>

検定試験中止の影響を受ける資格者へ、適格性証明書の使用期限伸長を証明する「新型

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する証明書」を発行した。

- 3) 資格者認証
 - 継手管理技士資格試験
 - ガス圧接技量検定試験
 - 鉄筋溶接技量検定試験
 - 鉄筋継手部検査技術検定試験
 - 技量資格者中間審査
- 2. 事務局報告
 - 次の一般報告がなされ、了承した。
 - ・2021年度資格試験及び技量資格検定試験の実施状況

■ 2021年度第2回臨時理事会報告

2021年11月25日に定款第36条に則り、理事総数20名中、出席17名、欠席3名を確認し、本理事会は成立した。

A. 主な審議事項

- 1. 日本鉄筋継手協会優良会社認定制度規則第19条異議申立てについて
 - (1) 協会HP掲載文書に関する報告・是正・予防措置対応について
 - 一部修正することとして原案を了承した。
 - (2) 日本鉄筋継手協会優良会社認定制度規則第19条異議申立てについて
 - 内容を審議し、一部修正して原案を承認した。なお、本日成案した第19条条文を優良会社認定委員会へ送る。
 - (3) 日本鉄筋継手協会 優良会社認定制度規則 異議申立てに関する内規(案)
 - 内容を審議し、原案を承認した。

■ 2021年度第3回臨時理事会報告

2021年12月23日に、定款36条に則り、理事総数20名中、出席20名を確認し、本理事会は成立した。

A. 主な審議事項

- 1. 2021年度第548回定時理事会議事録(案)の確認
 - 内容を確認し、原案を承認した。
- 2. 2021年度第2回臨時理事会議事録(案)の確認
 - 内容を確認し、原案を承認した。



3. 日本鉄筋継手協会謝礼等規程改正の件
改正内容を確認し、原案を承認した。
4. 優良圧接会社認定の件
認定内容を審議し、原案を承認した。もって、更新申請会社25社及び新規申請会社7社を認定した。
5. A級継手圧接施工会社認定の件
認定内容を審議し、原案を承認した。もって、更新申請会社22社及び新規申請会社6社を認定した。
6. 新年のご挨拶についてのお知らせの件
内容を審議し、原案のとおり決定した。もって、2022年以降の協会の年賀状発送を廃止する。
7. 協会が受けた優良会社認定制度に関する苦情の件
内容を審議し、原案のとおり優良会社認定委員会へ送致する。
8. 会員資格の件
入会及び委員会オブザーバーの内容を審議し、原案のとおり承認した。
＜正会員＞ 入会 2社
＜委員会オブザーバー＞ 委嘱 4名

B. 報告事項

一般社団法人・財団法人法、第91条第2項の定めに従い、会長、副会長及び専務理事より職務の執行状況に関する報告がなされた。併せて、各委員会を担当する理事より、委員会の活動状況に関する説明及び報告がなされた。

1. 会長報告

- (1) 会員資格の件（日本鉄筋継手協会委員会委員一覧）
- (2) 会長発信文書報告
協会に提出された要望書についての回答文書について報告がなされ、了承した。
 - ・（公社）日本鉄筋継手協会 優良審査判定についての件
 - ・優良会社認定等制度の更新審査に対する要望書の件

2. 各委員会報告

審議事項及び報告事項と重複する内容については省略し、次の内容による報告がなされ了承した。

(1) 総務委員会報告

- 1) 日本鉄筋継手協会謝礼等規程改正の件
- 2) 新年のご挨拶についてのお知らせの件
- 3) 意見書・要望書・審議願いの取扱いについて

- 4) 定款に定める理事会の招集に関する件
 - 5) 【報告事項】日本鉄筋継手協会委員会委員について
 - 6) 2022年度総務財務委員会開催スケジュールの確認
- (2) 技術委員会報告
 - 1) 非破壊検査小委員会
 - 2) 機械式継手性能小委員会
 - (3) 優良会社認定委員会報告
 - 1) 異議申し立て申請について（異議申立審議委員会）
 - 2) 優良機械式継手施工会社認定について
 - 3) 勉強会の実施予定
 - (4) 要員認証管理委員会報告
 - 1) コロナ禍における一時的な措置として行ってきた要員認証活動に伴う協会職員運転の中止
 - 2) 全圧連からの当委員会へのオブザーバー参加について
 - 3) 日本鉄筋継手協会 技量検定等共通規定改正の件
 - 4) 熱間押抜検査技術検定規定及び同実施要領改正の件
 - 5) ガス圧接技量検定試験緊急対応及び予防措置規定改正の件
 - 6) 2022年度協会定時試験及び定時講習会実施予定について
 - 7) 2021年度検定試験・中間審査の認証に関する担当委員の確認

3. 事務局報告

次の内容による一般報告がなされた。

- ・2021年度資格試験及び技量資格検定試験の実施状況

■ 第549回定時理事会報告

2022年2月25日に、定款第36条に則り、理事総数20名中、出席18名、欠席2名を確認し、本理事会は成立した。

A. 主な審議事項

1. 2021年度第3回臨時理事会議事録（案）の確認
内容を審議し、原案を承認した。
2. 公益社団法人日本鉄筋継手協会規則一部改正の件

改正内容を審議し、原案を承認した。

3. 日本鉄筋継手協会電子取引データ事務処理規程制定及びそれに伴う日本鉄筋継手協会経理規程一部改正の件

規程内容を審議し、一部修正して原案を承認した。

4. 2021年度第3四半期収支報告(中間報告)

2021年4月1日から12月31日までの収支報告を確認し、了承した。

5. ガス圧接技術演習問題集(2022年)売価設定の件
内容を審議し、原案のとおり決定した。

6. 2022年度事業計画及び2022年度収支予算について
2022年度事業計画(案)及び収支予算案について内容審議し、原案のとおり承認した。もって、2022年度事業計画及び収支予算を内閣府へ提出する。

7. 鉄筋冷間直角切断機用チップソーの更新認定の件
内容を審議した結果、承認した。

・更新認定：1社 4件(7種)

8. 2021年度日本鉄筋継手協会賞受賞者決定の件

候補対象者の内容を審議し、原案のとおり次の候補者を協会賞の受賞者と決定し、承認した。

- (1) 功績賞 1名
- (2) 功労賞 8名
- (3) 技術功労賞(第43回) 2名

9. 2021年度日本鉄筋継手協会賞表彰式について

Webによる表彰式内容を審議し、了承した。

10. 日本鉄筋継手協会賞新表彰の設定について

日本鉄筋継手協会賞に優良会社認定に関する新表彰を原案のとおり設定した。

<表彰名称>

優良会社品質向上永年表彰 金賞

優良会社品質向上永年表彰 銀賞

B. 報告事項

一般社団法人・財団法人法、第91条第2項の定めに従い、会長、副会長及び専務理事より職務の執行状況に関する報告がなされた。併せて、各委員会を担当する理事より、委員会の活動状況に関する説明及び報告がなされた。なお、審議事項と報告事項が重複する内容については省略し、次の内容による報告がなされた。

1. 企画調整会議報告

報告がなされ、了承した。

2. 各委員会報告

- (1) 技術委員会報告

- 1) 非破壊検査小委員会

- 2) 機械式継手性能小委員会

- (2) 総務財務委員会報告

- 1) 2021年度第3四半期(4月~12月)収支中間報告

- 2) 公益社団法人日本鉄筋継手協会規則一部改正の件

- 3) 日本鉄筋継手協会電子取引データ事務処理規程制定の件

- 4) ガス圧接技術演習問題集(2022年)売価設定の件

- 5) 2022年度事業計画(案)及び2022年度収支予算(案)について

- 6) 2021年度日本鉄筋継手協会賞受賞者(案)決定の件

- 7) 日本鉄筋継手協会賞新表彰の設定について

- 8) 2021年度総務財務委員会開催スケジュールの確認

- (3) 国際対応委員会

- (4) 要員認証管理委員会報告

- 1) コロナ禍における緊急避難的措置として協会職員運転(4tトラック)による資機材運搬の運用について

- 2) 全圧連からの当委員会へのオブザーバー参加について

- 3) 日本鉄筋継手協会技量検定等共通規定改正の件

- 4) 熱間押抜検査技術検定規定及び同実施要領改正の件

- 5) ガス圧接技量検定試験緊急対応及び予防措置規定改正の件

- 6) 2022年度協会定時試験及び定時講習会実施予定について

- 7) 2021年度検定試験・中間審査の認証に関する担当委員の確認

- 8) 資格者認証の件

- ① 継手管理技士試験委員会

- ② ガス圧接技量検定試験委員会

- ③ 鉄筋溶接技量検定委員会

- ④ 鉄筋継手部検査技術検定委員会

- ⑤ 機械式継手技能者試験委員会

- ⑥ 中間審査



3. 事務局報告

次の内容による一般報告がなされた。

- 1) 2021年度資格試験及び技量資格検定試験の実施状況
- 2) 中間審査実施状況



会員・専門委員の動き

■ 会員資格の取得及び変更

□2021年7月30日付

1. 入会

正会員 I 類

- (株)翔圧 大阪府大阪市
(株)光鋼業 沖縄県豊見城市
(株)増田工業 神奈川県横浜市
丸善工業(株) 大阪府摂津市

正会員 IV 類

- (株)オクト 大阪府東大阪市

特別会員

- 阿部 康晴 東京鉄鋼(株)
都築 正則 (株)大林組
鈴木 史朗 (独)都市再生機構

2. 退会

正会員 I 類

- 新東圧接(株)
(有)第一圧接工業
(有)谷ガス圧接
(株)千葉工業

正会員 V 類

- JFEテクノワイヤ(株)

特別会員

- 木村 孔久

3. 代表者変更

正会員 I 類

- (有)オリエント圧接工業
(新)代表取締役 森田 正博

特別賛助会員

- (公社)日本コンクリート工学会
(新)会長 二羽 淳一郎

4. 住所変更

正会員 I 類

- (有)共同ガス圧接
(新)埼玉県所沢市林1-16-2
タツミ圧接(有)
(新)埼玉県行田市藤原町2-19-6

(有)ツルミ圧接

(新)神奈川県横浜市鶴見区仲通2丁目70-10

□2021年10月29日付

1. 入会

正会員 I 類

- (株)リュウシン 神奈川県横浜市

正会員 IV 類

- (株)トラスト 兵庫県西宮市
(株)ラボックス 栃木県佐野市

特別会員

- 館下 康廣 共栄製鋼(株)

2. 退会

特別会員

- 宇治 公隆
柏瀬 一彦
古宮 元雄
佐藤 積
杉林 秀夫
寺本 剛啓
村瀬 広導
室井 智文
福島 隆
山岡 亮介
山崎 敦

3. 代表者変更

正会員 I 類

- (有)フルタ工業
(新)代表取締役社長 古田 一博

正会員 IV 類

- 高圧ガス工業(株)
(新)代表取締役社長 黒木 幹也
新日本非破壊検査(株)
(新)代表取締役社長 植村 佳之
(株)テストサービス
(新)代表取締役社長 奥平 昌道
東洋検査工業(株)
(新)代表取締役社長 的場 正文

正会員V類

朝日工業(株)

(新)代表取締役社長 中村 紀之

鹿島建設(株)

(新)代表取締役社長 天野 裕正

東鉄工業(株)

(新)代表取締役社長 前川 忠生

4. 住所変更

正会員I類

(有)フルタ工業

(新)神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1246-1070

□2021年12月23日付

1. 入会

正会員I類

(株)大塚興業 千葉県八千代市

正会員IV類

エンジニアリングサービス(株) 東京都大田区

2. 退会

特別会員

金谷 憲司

須崎 浩二

3. 社名変更

正会員I類

(有)熊本圧接

(新)(株)熊本圧接

4. 代表者変更

正会員I類

(株)熊本圧接

(新)代表取締役 堂園 一

5. 住所変更

正会員I類

アイズ継手技工(株)

(新)愛知県津島市百島町字献上1番地2

(株)トラスティ

(新)広島県広島市西区中広町2-4-1

□2022年4月22日付

1. 入会

特別会員

田中 正志 三井住友建設(株)

2. 退会

正会員I類

(有)オリエント圧接工業

共同ガス圧接(有)

新東圧接(株)

中日ガス圧接(株)

(株)不二工業

賛助会員

商事(株)

特別会員

岡田 耕治 三井住友建設(株)

3. 代表者変更

正会員I類

札幌インスペクション(株)

(新)代表取締役社長 名畑 拓

4. 住所変更

正会員IV類

(株)翔圧

(新)大阪府門真市松生町3-1

(有)グローバル検査

(新)名古屋市名東区香南2丁目2-912

□2022年6月17日付

1. 入会

特別会員

草野 浩之 JR九州コンサルタンツ(株)

田中 浩一 (株)大林組

中田 裕喜 (公財)鉄道総合技術研究所

横川 和人 (株)石本建築事務所

渡辺 健 (公財)鉄道総合技術研究所

2. 退会

正会員I類

(株)川島ガス圧接

(有)栄山工業所

3. 代表者変更

正会員I類

沖縄ガス圧接(株)

(新)代表取締役社長 林 仁志

正会員IV類

沖縄工業検査(株)

(新)代表取締役 糸満 盛文

東京理学検査(株)

(新)代表取締役社長 田中 崇

(株)日本ユーテック

(新)代表取締役社長 河合 康年

(有)ユーエスティー工業
(新)取締役 佐藤 隆二

正会員V類

大成建設(株)
(新)代表取締役社長 相川 善朗
BX西山鉄鋼(株)
(新)代表取締役 西山 明良

4. 住所変更

正会員I類

(有)伊藤鉄筋工業
(新)山口県周南市大字大河内2245
タツミ圧接(有)
(新)埼玉県行田市藤原町2-19-6

(有)ツルミ圧接
(新)神奈川県横浜市鶴見区仲通2丁目70番10
(株)ヒムロ
(新)福岡県直方市頓野349-6

正会員IV類

(株)キューシーコンサルタント
(新)神奈川県横浜市神奈川区神奈川2丁目11-18
渡辺ビル501
(株)日本ユーテック
(新)岡山県倉敷市片島町95-3

組 合

北海道圧接業協同組合
(新)北海道函館市七飯町大川3丁目17-12

委 員 國津 博昭 (株)日建設計
〃 吉野 次彦 (公社)日本鉄筋接手協会
特別会員

・仕様書見直し検討小委員会

主 査 勝木 太 芝浦工業大学
委 員 阿部 達也 鹿島建設(株)
〃 阿部 康晴 東京鉄鋼(株)
〃 佐藤 孝二 (有)グローバル検査
〃 土井 克也 (株)ダイイチ
〃 中澤 春生 清水建設(株)
〃 成原 弘之 大成建設(株)
〃 丸田 誠 静岡理工科大学
〃 吉川 広司 東洋ガス圧接(株)

□2022年6月24日

・継手管理技士試験委員会

委 員 伊藤 晋広 鉄建建設(株)

・ガス圧接技量検定委員会

委 員 渡辺 健 (公財)鉄道総合技術研究所

・要員認証地区委員西日本地区

委 員 草野 浩之 JR九州コンサルタンツ(株)

■ 専門委員の委嘱

□2021年12月23日付

1. 委 嘱

・総務財務委員会

オブザーバー 佐藤 孝二 (有)グローバル検査取締役社長
〃 土井 克也 (株)ダイイチ代表取締役社長

・要員認証管理委員会

オブザーバー 足立 真規 太陽圧接(株)代表取締役
〃 松本 一彦 栄進工業(株)代表取締役社長

□2022年6月17日付

1. 委 嘱

・総務財務委員会

委 員 佐藤 孝二 (有)グローバル検査
〃 土井 克也 (株)ダイイチ

・広報委員会

協会刊行物案内

■ガス圧接演習問題集(2022年) 会員価格 5,000円(税込) 一般価格 7,000円(税込)

手動ガス圧接技量検定試験の新しい学科試験内容に対応した【ガス圧接演習問題集(2022年)】版の販売をしています。

ご希望の方は、「協会ホームページ/刊行物」より、注文をしてください。

なお、熱間押抜ガス圧接、高分子天然ガス圧接及び水素エチレン混合ガス圧接技量検定試験の学科試験につきましては、従来の【ガス圧接演習問題集(2016年)】版が対応しており、【ガス圧接演習問題集(2022年)】版にも掲載されております。(今後、順次改定予定)



MEMO



編集後記



11月8日に皆既月食と天王星食が同時に起こり話題になりました。また、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が稼働し、深宇宙の鮮明な写真を見せてくれています。紀元前2000年にはエジプトなどで天体観測が行われていましたが、ヒトはそれより遥か昔から星空を見ていたことでしょう。真猿類と多くの鳥の目は星が見える構造だそうですが、宇宙の成り立ちを追い求めてきたのはヒトだけです。35億年前に地球に誕生し、様々な障害を乗り越えながら継がれてきた生命の一つが高度な知性を獲得したことに感慨を覚えます。今、間近にある地球温暖化や核戦争などの危機を乗り越え、ヒトの生命が(当然、全ての生命が)継がれていくことを祈らずにはられません。(N. S)

鉄筋継手 2022. 7・10 Vol. 57 No.1
通巻(圧接) 第219号

2022年11月20日発行

編集発行人 理事 関 洋之

発行所 公益社団法人 日本鉄筋継手協会
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-15-9
加藤ビル2F

TEL 03 (6271) 7957

FAX 03 (6271) 7958

編集協力 株式会社 山王プリント

東京都中央区築地4-3-3

TEL 03 (3544) 0161

JRJI



公益社団法人 日本鉄筋継手協会
Japan Reinforcing Bar Joints Institute
(旧 社団法人 日本圧接協会)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-15-9 加藤ビル2F
ホームページアドレス <http://jrji.jp>

広報委員会

委員長 鈴木 紀雄

副委員長 平野 勝識

委員 國津 博昭 / 沼倉 紀章 / 吉野 次彦